

令和４年第２回鹿角市議会定例会 一般質問

※3月4日変更

□質問順位及び質問所要時間

3月 9日（水）午前10時～	1	館 花 一 仁 議員	（30分）
	2	宮 野 和 秀 議員	（60分）
	3	戸 田 芳 孝 議員	（45分）
	4	安 保 誠一郎 議員	（30分）
3月10日（木）午前10時～	5	丸 岡 孝 文 議員	（30分）
	6	金 澤 大 輔 議員	（30分）
	7	笹 本 真 司 議員	（60分）

□質問時間割当表

10:00		10:30	10:40	11:40	13:00	13:45	14:15
3月 9日 （水）	館花一仁 （30分）	休憩 10分間	宮野和秀 （60分）	休 憩	戸田芳孝 （45分）	安保誠一郎 （30分）	

10:00	10:30	11:00	11:10	12:10		
3月10日 （木）	丸岡孝文 （30分）	金澤大輔 （30分）	休憩 10分間	笹本真司 （60分）		

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	1	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 大湯環状列石 J O M O N 体感促進事業について				① 体感促進と謳っているが、具体的にどのような内容となっているか。また、事業全体の進捗状況を伺う。さらに、検討委員会の意見と、意見を受けて変更になった点があれば併せて伺う。 ② 大湯ストーンサークル館で食の体験プログラムを実施すると報道にあった。飲食物の提供は難しいと伺っていたが、状況に変化があったのか。また、誰が調理して、どのようなものをどこで食べるのかなど具体的な実施の形態について伺う。 ③ 1 月のモニターツアーにおいて参加者から出された意見及びこれから始まる予定の体験プログラムに出された意見により、どのような改良がなされたか伺う。	
2 学校の跡地利用について				① 旧花輪北小学校の跡地について、民間企業などへの貸出や売却の予定等があるか伺う。 ② 市内事業者がドローン操作の教習所をつくりたいという話を聞いた。教習所をつくるには 90×60 メートルの広さが必要となるようだが、グラウンドを活用することはできないか伺う。また、規制等の関係やその他問題点等があるものか、併せて伺う。	
3 湯瀬地区における市道の融雪について				① 国道 282 号から湯瀬ふれあいセンター・湯瀬ホテルに通じる道路については、数年前から融雪されておらず、下り坂では J R 花輪線の踏切で停止することができない恐れがあるなど、危険な状況にあるが、改修等を行う予定はないか伺う。 ② 同様に、湯瀬温泉駅から和心の宿姫の湯の前を通り、上の湯商店に至る道路について、消雪ができておらず、道路状況によっては迂回を余儀なくされている状況にあるが、改善できないか伺う。 ③ ①、②については、これまでも湯瀬自治会から改修の要望が出されていると思うが、難しいとの回答をもらっているという話を聞いた。生活路線についてはしっかり状況把握をして措置するべきと考えるがいかがか。	

令和4年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	館花 一仁	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	入札事務の適正化について			① 市長は記者会見で、第三者委員会を設けて意見を聴き、制度の改善を図ると話していたが、委員会のメンバーの選定に当たり、どのような考えのもとに人選をされたのか伺う。 ② 会見の中で、第三者委員会の意見を参考に再発防止策を決定すると発言していたが、どのような意見が出され、その中で市長はどのような方策を採用する見込みとしているか。また、いつからその対策を実施する予定としているのか伺う。	
5	本市における認知症の状況について			① 認知症に対する本市の取り組みについて状況を伺う。また、ここ5年間の推移についても併せて伺う。	

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	市長の市政運営について			① 第７次総合計画前期基本計画の本年度の総評を伺う。 ② 市長のカラー（公約・政策）が未だ予算化されていないが、新年度の予算ではどのような施策が予算化されているのか伺う。また、先の市長記者会見（２月 15 日）での予算説明で「明らかにおかしいと思う事業がいくつもあり、そうしたものは計上していない。効率的、公平さが欠けている予算は全部やめた」とのことで、それはどのような予算であったのか具体的に伺う。	
2	森林環境譲与税を利用した森林整備について			① 地球温暖化対策について、2005 年 2 月 16 日に京都議定書が発効された。我が国では 2008 年から 5 年間で 1990 年比 6%削減が義務づけられている。6%のうち 3.8%は森林の吸収でまかなうように施策を打ち出し達成しており、その後、パリ協定。我が国では 2050 年 C O2 排出ゼロを目標とし、様々な施策を講じているが、その中で大きなウエイトを占めるのは森林である。国有林は計画的に進めることができるが、問題は民有林である。山の持ち主は誰か、持山の場所（自分の山林）がどこにあるのか、また、今後どのような経営をしていけばよいか等、問題が多い。国の政策として、森林環境譲与税を使い、個人で管理できない人は市が個人に代わり管理・経営していく制度（事業）が 2019 年にスタートし、4 年目を迎えようとしている。C O2 排出ゼロ達成とすべき柱になる事業であるが、その経緯と今後の計画について伺う。	
3	鹿角産材（間伐材）を利用した木育について			① 議会（常任委員会）で 2014 年と 2015 年に岐阜県美濃市、東京都新宿区を視察し、その後市に施策提案した経緯があり、ぜひ取り組むべきと考える。報道では 2 年間だけ実施とのことだが、鹿角産材（間伐材）を使った木育は本市にとっても大事な教育と確認しており、今後も続けるべきと考えるが、今後の計画（予定）を伺う。	
4	皆伐後の植林について			① 杉山（杉材）の皆伐後、植林されず放置されている山が多くなっている。市でも植林指導はしていると思うが、現状とその対策について伺う。	
5	本市農業ビジョンについて			① 本市農業は他市と比べ、米、果樹、野菜等の複合経営を進めてきたが、今後の本市農業のビジョンを市長はどのように考えているのか、その概要を伺う。	

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	耕作放棄地について			① 耕作放棄地は、そばの里づくり等で減少はしてきているが、カヤ、雑草等、とても再生不可能な田畑が多くなってきている。地主との関係もあると思うが、植林等で山の再利用は考えられないのか伺う。	
7	新エネルギー産業、かづのパワーの事業を再開させる意義について			① かづのパワーは、再生可能エネルギー自給率 300%を超える本市の特徴を生かし、電力の地産地消と電力資金の域内循環を目的に設立された小売電力会社であるが、昨年の電力市場の高騰により事業休止を余儀なくされた。昨年 1 月に開催された全員協議会の説明で、当局及びかづのパワーの取締役会では、会社の解散も視野に入れて検討しているとのことであったが、議員からかづのパワーの事業は非常に重要であり、諦めるべきではないという意見が多数出たことから、再開に向け新たな事業モデルを検討することになったものと理解している。この間、一昨年 10 月に当時の菅総理が国内の温暖化ガスの排出量を 2050 年までに実質ゼロにすることを表明するなど、脱炭素の流れは加速しており、豊富な再生可能エネルギーを有する本市が果たす役割は大きいものとする。しかし、電力市場の価格は昨年 11 月以降高値で推移しており、かづのパワーが当初バランシンググループに加入する予定だった H T B エナジーも経営方針を転換、急きょ U P D A T E R に変更せざるを得なくなるなど、事業環境は決して楽観視できるものではない。このような厳しい環境の中においてもかづのパワーの事業を再開させる意義について改めて伺う。	
8	かづのパワーの経営を安定させるための施策について			① 事業の意義はあるものの、顧客である市有施設の電気代負担が約 700 万円増加する上、かづのパワーの利益も減る。かづのパワーの経営を安定させるため、今後どのような対策を取っていくのか伺う。	
9	自分の命を守れる防災について			① 本市河川（米代川）上流部は、森林の過度の伐採や土砂崩壊等により元来持っている森林の保水力が極度に低下しており、そのため線状降水帯や強風等で一気に災害が発生する恐れが高まってきている。そこで求められるのは早急かつ的確な情報の提供、地域（地区）ごとの避難場所の確保、自分の命は自分で守れる行動であり、これらが市民に浸透しているのか伺う。また、災害弱者対策にはどのような対策が取られているのか伺う。	

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	2	質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
10	鳥獣による被害について		① 本市における鳥獣の種別はどのくらい確認されているのか。また、それぞれの被害はどのくらいか。その対策を伺う。 ② 猟友会は一時高齢化により会員不足とのことであったが、最近は若手会員や女性会員も若干増加していると聞いているが、現状とその対策を伺う。		
11	ふるさと鹿角応援寄附金について		① 本年度２月までのふるさと鹿角応援寄附金の金額と、どのような事業・施策に使われているのか伺う。また、返礼品の総額はどれくらいか伺う。		

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	官製談合事件について				
	(1) 事件の原因と再発防止について		① 本事件の原因をどのように捉えているのか。また、再発防止に向けた取り組みと対策について伺う。		
	(2) 「入札監視委員会」の設置について		① 入札制度の透明性を確保するために、第三者機関によるチェック機能として「入札監視委員会」の設置を検討できないか、考えを伺う。		
2	本市の人口減少について		① 人口減少に対する現状認識と取り組むべき課題は何か。また、人口減少を抑制するための対策について伺う。		
3	公約の進捗状況について				
	(1) 市民との対話（いつでも市長室）について		① これまでの開催状況を伺う。 ② 寄せられた意見や要望をどのようにして市政に反映していくのか。また、取り入れたもの、あるいは予定されている案件はあるのか伺う。		
	(2) 「北東北ゴールド構想」について		① 構想の目的は、本市の産業や経済の振興に資するものと理解している。実現に向けた具体的な取り組みと、進捗状況について伺う。		
	(3) 産婦人科（分娩機能）の再開について		① 選挙戦での力説に加え、市長ご自身のホームページ（公式Webサイト）で「産婦人科再開は早期に解決できます。いや、します」と断言されている「分娩機能の再開」について、実現は可能なのか。また、再開はいつ頃になるのか伺う。		
	(4) 予算措置について		① 公約実現に伴う財源について、新年度予算にどのように反映させているのか伺う。		

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4	自治体D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進について				
	(1) 行政手続等のオンライン化について		① 自治体D X（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けた取り組みについて、本市におけるデジタル化の現状と利用状況及び今後の展開を伺う。		
	(2) 「マイナンバーカード」の普及促進について		① 交付状況と促進策について伺う。		
	(3) デジタルデバイド（情報格差）の解消について		① 自治体D Xを実現するに当たり、経済的な理由、年齢、障がいなどの有無に関わらず、全員にデジタル化の恩恵を行き渡らせていく必要がある。デジタルデバイド（情報格差）を生まない本市の取り組みについて伺う。		

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	安保誠一郎	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	観光地のトイレ管理について				
	(1) J R 花輪線湯瀬温泉駅のトイレ管理について		① J R と市の契約解除によって昨年 12 月から駅は無人となり、トイレも閉鎖された。地元自治会の要望により今年 4 月から再開の予定とのことだが、その内容について伺う。		
	(2) ふけの湯温泉休憩所のトイレ管理について		① 汚水の貯留状況に異常が見られることから、平成 29 年より使用禁止となっている。温泉関係者からは再開してほしいとの要望があるが、見解を伺う。		
2	再開支援後の鹿角パークホテルについて				
			① 2021 年の経営状況について伺う。併せて、支援当初の組織体制は維持できているのか伺う。		
			② 3 億円は全体工事（第一期～第三期）の第一期工事への補助だとの説明を受けているが、第一期工事費の内訳及び支払い経緯（フロー）について伺う。		
			③ 鹿角パークホテルの再開は、経済活動の重要な拠点であり、都市機能の維持のため早く再開したいとのことであったが、再開後の現在、どのような経済活性化が図られたのか伺う。		
			④ 3 億円の補助金が無駄にならないような今後の支援体制をどう考えているか伺う。		
3	農林業支援について				
	(1) 鳥獣被害対策について		① 昨年と一昨年の鳥獣被害の増減比較について伺う。また、近年目撃件数が増えているイノシシ・ニホンジカの対応策についても伺う。		
	(2) 森林環境譲与税について		① 森林整備や保全等、気候変動対策の一環として設けられた「森林環境譲与税」に関し、適切な使途が見出せず基金に積み立てられている状況が続いている（総務省・林野庁調べ）が、本市の利用状況について伺う。		

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	プレミアム付商品券の発行について (1) これまでの費用と利用状況について (2) 世帯に一律の商品券の配布はできないか		① 新型コロナによる消費の落ち込み対策として次年度もプレミアム付商品券の発行を予定しているが、今年度までの同じような施策の回数と総経費を委託費と補助金額に分けて伺う。 ② 商品券を利用した購入品目はどのようなものであるのか。日常の生活必需品・食料品購入が大半ではないか伺う。 ① コロナ禍で収入が不安定になってきている中、生活に欠かせない食料品や日用品の値上げが次々に行われ、まだまだ暖房に必要な電気や灯油、移動手段用のガソリンも値上がりが続き、大半の市民はこれからの暮らしに不安を抱いている。金銭の使い方も、損か得かという考え方から今必要な物か我慢できる物かというように変化してきている。プレミアム付商品券はそれ自体が「おまけのついた商品」であり購入できる人だけが得をし、その発行に要する費用は購入できない人も払っている税金であり、これでは不公平感が大きくなるばかりである。次年度の予算が１億円規模であれば、一世帯 7,000 円ほどの一律配布が可能と考えるが、発行方法の変更はできないか伺う。		
2	ふるさとかつの絆プラン事業について		① 今年度は新型コロナの感染拡大で取組成果の発表会はできなかったものの、コモッセこもれば広場に掲示されていた市内各学校での取り組みでは、各校の特色が大いに発揮された活動の様子が詳しく表されており大変すばらしい物ばかりであった。地域の特色ある教育活動として良い滑り出しができていると感じる。今年度の成果や反省点から次年度はどのような取り組みに力を入れていくのか伺う。 ② 先般、関市長は鹿角民話の会「どっとはらえ」とのいつでも市長室をされたとのことだが、民話の会「どっとはらえ」は毎年市内各地区での語りの会の開催や児童対象の語り部講習を行い、その成果を市民へ公開する発表会の開催など、ふるさとかつの絆プラン事業の手段にあげている「ふるさと教育のフィールドを市全体に広げ、異学年交流や他校同学年同士の交流」を何年も前から積極的に実践している会で、昨年は会が指導を手伝っている大湯小の正課クラブ児童がストーンサークル館で素晴らしい発表を行い、多くの市民が大人顔負けの語りぶりに喝采を送った。昔話の宝庫である鹿角は各学校の学区内に多くの昔っこや伝説があることから、それを事業に組み入れ、「どっとはらえ」など学校、生徒、市民団体ともコラボをし、市民向けの成果発表を行う考えがないか伺う。		

令和4年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	アレルギーを持つ児童生徒の給食について (1) アレルゲンフリー食材での給食メニュー数について (2) 除去献立について			① 令和3年第4回定例会一般質問において、食材の調達費用について特に一般の食材と区分せずに調達しているので算出はしていないが、引き続きアレルギーを持つ児童生徒の安全性を第一に調達を行うとの答弁をいただいた。今年度に比べ次年度のアレルゲンフリー食材利用献立の回数は増えるのか伺う。 ① 同じく、令和3年第4回定例会一般質問において、完全除去された献立の検食・試食での見た目や味付けについて、教育長より「除去給食の検食・試食は栄養士が毎日行うほか、学校長や教育委員会の職員も必要に応じて行っており、味、量とも満足できる内容と考える」と答弁いただき、今後についてアレルギーを持つ児童生徒が他の児童生徒と同じように給食時間を楽しむことができるよう、可能な限り配慮をするとのことであったが、今年度の除去給食の検食・試食の回数と、検食者によるチェックシートから次年度必要と思われる改善点について伺う。	
4	新型コロナウイルスワクチン接種について (1) 接種による副反応とその対応について (2) 3回目の接種と子供への接種について			① 1回目、2回目接種時の副反応が原因で医療機関において治療などが行われた件数と対応が病院により異なっていることでの市民の不安や不満を把握しているか伺う。 ① 1、2回目で強い副反応を経験し、3回目の接種を躊躇している市民へのケアはどのようなになっているのか。また、12歳以上には既に接種券の発行がされているようだが、5歳以上の子供を含む接種については現状では今流行中のオミクロン株に対するワクチン効果が不明であり、副反応のデータも少ないと聞いている。接種を推進するあまり接種率だけにとらわれず、相談窓口の開設など保護者や本人が接種に伴うリスクを理解した上で接種判断ができる体制が必要だと考えるが、対応等を伺う。	

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	新年度当初予算について			① 「透明な市政の実現」という、自身のカラーが反映された予算ということで、削られた事業と予算があったようだが、事業は総合計画に沿ってつくられているものと考えているが、今年度の前期基本計画に登載済みの事業で、来年度に市長の判断で取りやめた事業と予算を削減した事業はあるのか。また、削減等をした具体的な事業名とどのような理由で削減を判断されたのか伺う。 ② 新年度事業の中に、「観光発見八郎太郎物語事業」とあるが、どういう内容と事業計画で、どういった経済効果を見込んでいるのか。また、仙北市や男鹿南秋地区との広域観光連携を図るとあるが、それぞれとどういう連携を図るのか、足並みは揃っているのか伺う。	
2	高校の学校給食の導入について			① 羽後町で、健康的な食生活や魅力ある学校づくりなどにつなげようと、県内全日制公立高校で初となる給食提供をする計画を進めている。これは町が活力を失わないために、高校はなくてはならない存在であるとして、地場産食材の提供で地域への愛着を増進させる狙いだが、本市も２年後には３つある高校が１つになる。この先の存続を考えると魅力ある学校づくりという視点は不可欠と考える。本市でも高校への学校給食の導入を検討してはどうかと思うが、前段としてまず、対象となる保護者の声を集めるアンケートの実施について取り組む考えはあるか伺う。	
3	かづのパワーについて			① １月２６日の全員協議会で、バランスンググループの見直し、電気の仕入方法の見直し、料金設定の見直しの３点について説明を受け、今後の予定として、顧客の電気料金の負担増を抑えるため、負担増加見込額として約６９０万円を市の負担として再開したい旨を伝えられた。議員の大半が一旦休止の意見であったが、その日のうちに契約が交わされたと報道で知った。電気代はどんどん上がっている上に、最近のロシアとウクライナを巡る世界情勢で、今後も電力市場の先行きは不透明であり、見込んでいる負担増加額も増える可能性が高いが、市民への説明責任についてどう考えているのか。透明な市政として、市民への説明は当然すべきと思うが考えを伺う。	

令和４年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	一般家庭における省エネルギー投資促進に向けた支援について			① 一般家庭におけるSDGsの取り組みの中で、最も重要なのは省エネである。しかし、家庭で取り組むには省エネ性能の高い設備を導入しなくてはならず、それがネックとなり社会的に進んでいないが、最近はその部分を支援する自治体も増えている。大館市では、リフォームとペレットストーブ設置に補助をしている。本市でも、省エネエアコンへの買い替えや、ペレットストーブ設置、LED照明機器（電球は除く）への交換、高効率給湯器など、市内の業者を使うことを条件に家庭で取り組む省エネ対策として、支援をする取り組みを考えられないか伺う。	
5	空き家対策について			① 情報の収集、呼びかけ、掲載、実態調査など、各課を挙げての取り組みが見てとれるが、さらなる取り組みとして、軽自動車税と固定資産税の納付書を発送する封筒に、広告料を取り不動産業者の広告を掲載すれば、市内に不動産を所有している全ての方（空き家持ち主・予備軍）に届くので、ネット、広報以外の情報発信でピンポイントに届けられる極めて有効な手段ではないかと市民から提案があった。これはまさにそのとおりだと思うのだが、市民からの貴重な提案に取り組む考えはないか伺う。	
6	新型コロナで打撃を受けている業界への支援対策について			① 終息が見えないコロナ禍での客足の低下に加え、さらに追い打ちをかけるように燃料費・材料費の高騰を受け、飲食店をはじめタクシー・代行など関連業界は本当に厳しい現状にあり、風前の灯火である。町から飲食店の灯を消さないためにも、歓送迎会シーズンを迎えるに当たり、早急な支援対策が必要であると考えるが、取り組む考えがあるか伺う。	
7	成人式について			① 来年度は「二十歳の集い」として、また１月開催のようだが、当面この１月開催になっていくのか。または、実行委員会の立ち上げを早めて、その時の実行委員会の希望に沿っていくのか伺う。 ② 式典に携わる業種、着物、着付け、理美容、写真、飲食店など、市内の店舗を網羅した印刷物が「二十歳の集い」参加者に事前配付できれば、参加者と店側共につながり、地域経済にプラスになる、そういった印刷物をつくってもらえれば本当にありがたいと、関係者から声が届いている。 実行委員会につくってもらい、もしくは式典の取材に来ていた高校生広報室に取材も兼ねて制作してもらいなどすれば、知見、地域経済、地元愛、いろんな意味でのさらなるつながりになり、鹿角としては良いことづくめではないかと思うのだが、取り組む考えがあるか伺う。	

令和4年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	7	質問者	笹本 真司	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 中心市街地中核ホテル再生支援事業補助金の支給について (1) 対象者の公平性について (2) 交付の対象経費第 1 期工額税抜 3 億 6,000 万円の妥当性について (3) 3 億円(10/10)補助決定の妥当性について				① 今回の補助対象費用の多くは、老朽化した設備の改修に占める割合が多いという旨の説明があったかと思う。改修費用がネックとなって後継者が見つからないというケースが多いのは容易に想像できる。今回の場合、補助対象者が制度作成時に事実上決まっており、そこに疑問を持たれている市民の方も多い。初めから、3 億円の補助金を市から交付することが前提であれば、複数業者が名乗りを挙げた可能性もあるかと思う。公平性と、その他要因とのバランスという観点で対象者の決定理由を伺う。	
				① 大切な税金を使用するに当たり、補助金対象費用の妥当性は 2 つの観点から検証される必要がある。すなわち対象内容の妥当性とその金額の妥当性である。 (ア) 交付要綱の第 4 条に補助金の対象経費として記載されているが、各申請対象工事内容の詳細に関しても、妥当かどうかの審査は実施したか。また、実施していればどのような判断基準であったか伺う。 (イ) 各対象工事・機器や物品購入費の価格の妥当性を判断するための審査は実施されたか。また、実施された場合、どのような手法・判断基準が用いられたか伺う。	
				① 鹿角市の補助金等の交付並びに適正化に関する規則の第 6 条の基本的考え方に基づけば、最大で対象経費 3 億 6,000 万円の 2 分の 1 の補助、すなわち 1 億 8,000 万円となるが、決定額は補助率 10/10 で 3 億円となった。 (ア) 第 6 条第 2 号を適用して特に奨励的と認めた根拠と、その判断に至る意思決定手続きはどのように行われたか伺う。 (イ) 上限 1 億円の事業再構築補助金などをみると、最高でも補助率 3 分の 2 である。上限 3 億円(10/10)となった根拠と、その意思決定手続きはどのように行われたか伺う。 (ウ) 財源は 100%まちづくり基金からの拠出である。鹿角市まちづくり基金条例の第 5 条に基金を使用できる項目の記載がある。今回は「(5)その他まちづくりを推進するため、特に必要と認められる事業の財源に充てるとき」の適用と理解するが、この判断と手続きはどのように行われたか伺う。	

令和4年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	笹本 真司	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
2			(4) 補助金の公益性・費用対効果のチェック体制の妥当性について	① 補助金は交付された後も、どの程度の効果がでているか、公益性・費用対効果の観点から検証することが不可欠である。令和3年5月の一般質問での回答は「定期的な訪問による経営の状況確認や、年1回実施する事業所雇用状況調査により、雇用者数等を把握し評価する」との答弁があった。 (ア) 現状での定期的な訪問における経営状況の確認内容とその頻度、いつまで実施する予定か伺う。 (イ) 雇用・経営状況の把握以外にも、経済波及効果、飲食店への客数増加などの測定パラメーターは存在しないか伺う。 (ウ) 現時点での市としての補助金の効果に対する評価と課題について伺う。	
			4 月から営業を再開するかづのパワーについて	① 前市長から引き継いだ関市長にとってのかづのパワーの位置づけ、存在意義と、長期的な視点からの将来性についてどう考えているか伺う。 ② ビジョンとして、中期的な視点で5年後～10年後にはどのように会社を発展させ、地域に貢献することをイメージしているか。また、課題である自主電源確保や顧客拡大はどのように行うのか伺う。さらに、他の民間の自然電力会社との連携ではなく、かづのパワーだからこそ、それがなし得る理由も伺う。 ③ 以上を踏まえた上で、あくまで4月再開を目指す意義は何か。市民に伝わるように説明してほしい。 ④ 2024年からは国の政策によって、電力小売事業者に容量拋出金の支払いが発生し、かづのパワーの拋出額は2024年で2,000万円ほどが見込まれると聞いている。その後も毎年拋出金は発生する。営業開始1年目でのかづのパワーの営業利益は240万円弱との説明であった。単純に考えて2,000万円以上の営業利益がでる体質にしなければ、2024年で経営が成り立たなくなってしまうと思うが、これについては、どのような計画を立てているか伺う。 ⑤ 現状は市役所職員が重要な方針決定や具体的な契約業務などを行っており、会社の経費としても計上されていないと認識している。昨年のような損失があった際に実質的に経営陣に責任を問える体制ではないように見える。経営体制は今後どうあるべきと考えるか伺う。	

令和4年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	7	質問者	笹本 真司	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	かづの厚生病院の精神科の医療体制に関して			① 現在の精神科の医療体制の運用状況に関して、昨年5月定例会時の答弁と照らし合わせた時の現状認識について伺う。 ② 来年度以降も常勤医は最低1名体制を維持していけるか伺う。	
4	児童へのコロナ対応 (1) タブレットの活用状況について			① 1月からのコロナ感染拡大により小中学校で休校・学級閉鎖が多く出ている状況である。ある市内の小学生を持つ家庭では、休校中も午前中オンラインでの授業が行われていたが、 (ア) オンライン授業が行われる際は、自宅にWi-Fi環境のない児童にはポータブルWi-Fiが貸し出されているのか伺う。 (イ) 休校・学級閉鎖中のオンライン授業は全ての小中学校で行われているか。また、通常の授業と同等の位置づけか伺う。 (ウ) 5月の一般質問では「ICT教育の支援については、今年度、どのような支援が必要なのかを学校現場の声を聞きながら見定め、それに合った形になるよう、幅広い視点を持って適切な人材活用を検討していきたい」と答弁をいただいたが、今年度の実績を受け、実際にどのような人材でどのような支援を行う予定か伺う。	
	(2) 学級閉鎖・休校・自主的な出席停止の対応について			① 市内の小中学校における学級閉鎖、休校の判断はどのようになされているか伺う。 ② 学級閉鎖・休校までいかない場合でも、生徒個人の基礎疾患や家庭の事情などから、感染不安を理由に休ませたいと保護者から相談があるケースもあるかと思う。文部科学省からは、校長が個別に合理性を判断して、欠席扱いではなく出席停止・忌引等の日数として扱える旨の指針が示されているが、市内小中学校において、こうしたケースでの対応方針や対応状況はどうか伺う。 ③ こうした理由で登校しない児童に対しては、どのようなフォローがされているか伺う。	

令和4年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	7	質問者	笹本 真司	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5	(3) 5歳～11歳の子供への新型コロナワクチン接種について			① 保護者が子供の接種をするべきか判断する際、どのような情報提供をする予定か伺う。 ② かかりつけ医以外に相談先はあるか。また、テレフォン病院 24 はこうした相談に対応しているか伺う。	
	コロナとの共生について			① 国体スキー大会、インカレスキー大会は、課題はあるものの、大会中の関係者の感染者数や大館管内での感染者推移を見る限り、コロナ対策としても結果的には概ね成功だったのではないかと思う。これから、市内でイベントを行う際、なるべく対策を講じた上で、安心して実施する方向になっていくものと考えてるが、 (ア) 鹿角市内薬局での無料抗原検査及び交流センター内での無料PCR検査の利用状況について伺う。 (イ) 今後のこれら2つの施設の運営見込みはどうなっているか伺う。 (ウ) 抗原検査とPCR検査は利用に当たってどう使い分ければよいか指針はないか伺う。 (エ) イベント等実施に当たって、感染予防対策としてのこれら検査施設の活用に関してはどう考えているか伺う。	